

2024年3月期 決算概要

2024年5月21日



パンチ工業株式会社

(証券コード: 6165 東証スタンダード)

2024年3月期 決算ハイライト

日本・中国の減収幅が大きく、原材料費・エネルギーコストの高止まりもあり減益

売上	連結	連結売上高は、前期比89.6%、44億円減の383億円
	日本	前期比88.2%の124億円 食品関連は好調に推移したが、自動車関連の下落幅が大きく影響
	中国	前期比87.2%の204億円 自動車関連の下落幅が大きく影響
	東南アジア	前期比96.7%の19億円 ベトナム、インドネシア、フィリピンが堅調だが、シンガポール不調
	欧米他	前期比108.7%の35億円 展示会出展による知名度向上及び新規取引が進み好調を維持
利益		営業利益は、前期比50.9%の1,240百万円 経常利益は、前期比59.4%の1,421百万円 親会社株主に帰属する当期純損失は、▲577百万円 (前期の親会社株主に帰属する当期純利益は、1,390百万円)
ネット資金		経営合理化支出を設備投資絞り込み等でカバーし期首から95百万円増加



損益計算書サマリー

(単位:百万円)

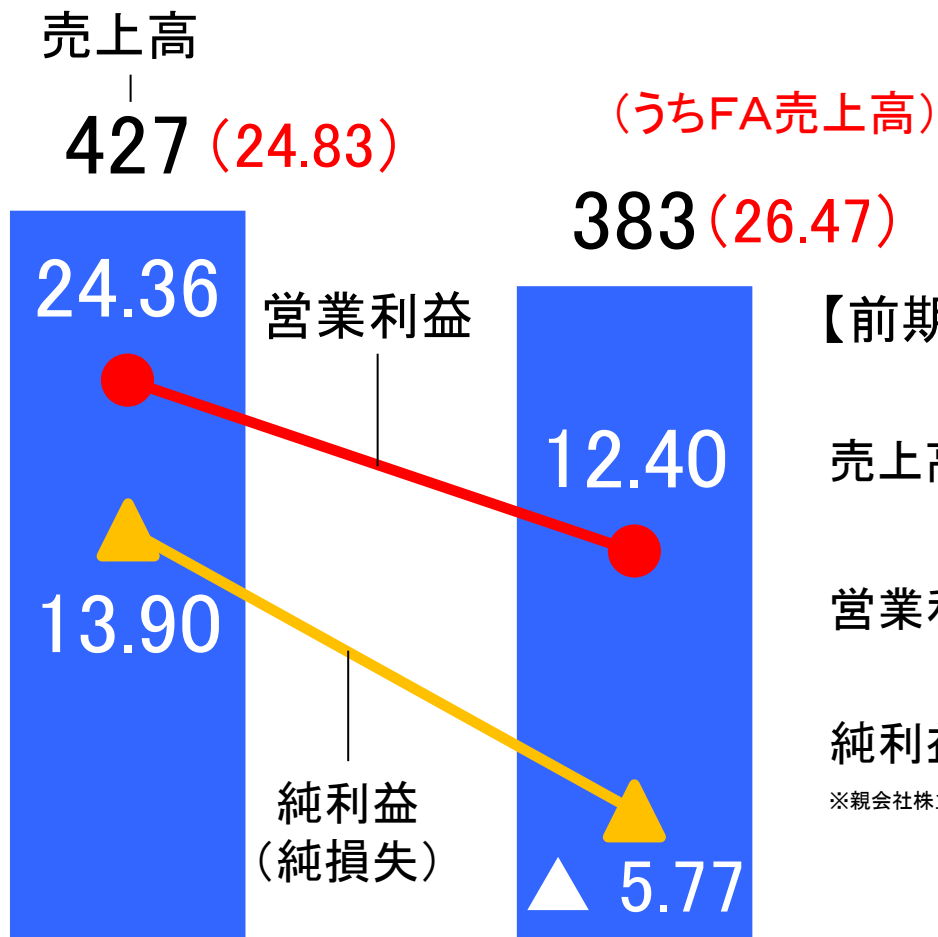
	2023年3月期	2024年3月期	前期差	前期比
売上高	42,799	38,344	▲ 4,455	89.6%
営業利益	5.7% 2,436	3.2% 1,240	▲ 1,196	50.9%
経常利益	5.6% 2,394	3.7% 1,421	▲ 972	59.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (純損失)	3.2% 1,390	- ▲ 577	▲ 1,967	-

【実績為替レート】 1人民元=19.80円 / 1USドル=140.54円



売上高と利益

(単位: 億円)



【前期比較】

売上高	44	億	55	百万円	減収
営業利益	11	億	96	百万円	減益
純利益	19	億	67	百万円	減益

※親会社株主に帰属する当期純利益

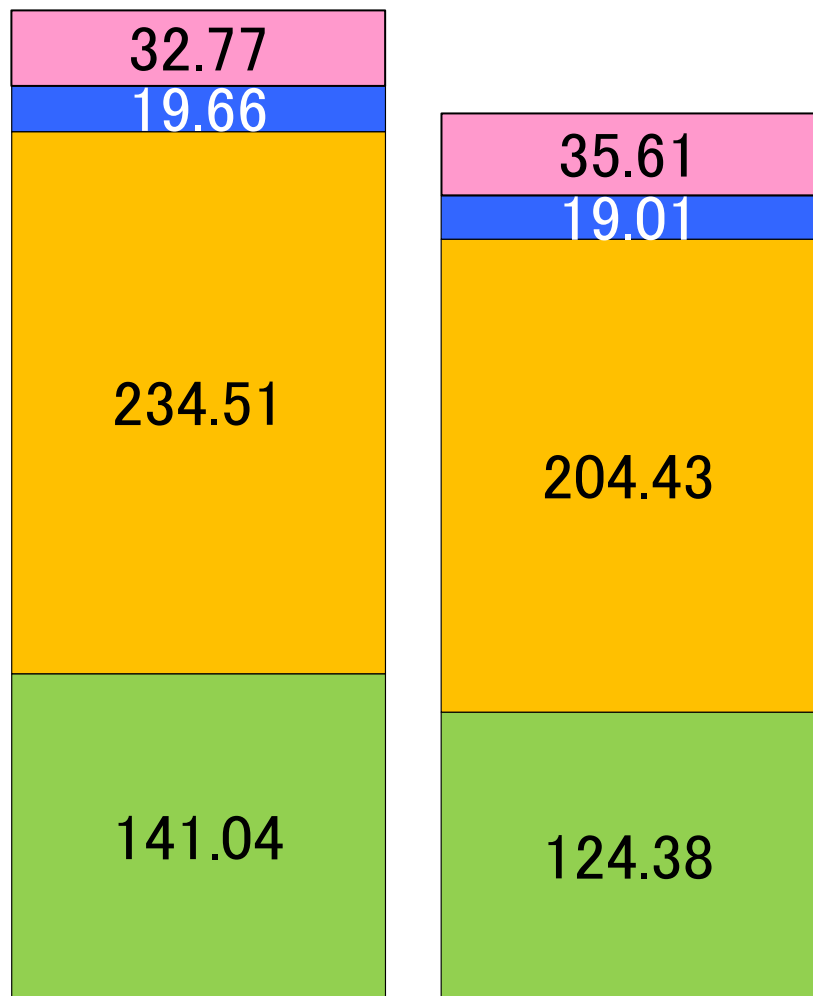
2023年3月期

2024年3月期



地域別売上高

(単位: 億円)



特に中国事業の減収幅が大きく影響

欧米他 食品・医療関連が堅調を維持

東南アジア ベトナム、インドネシア、フィリピンが好調

中国 自動車関連が低迷

日本 自動車関連、電子部品・半導体関連が低調

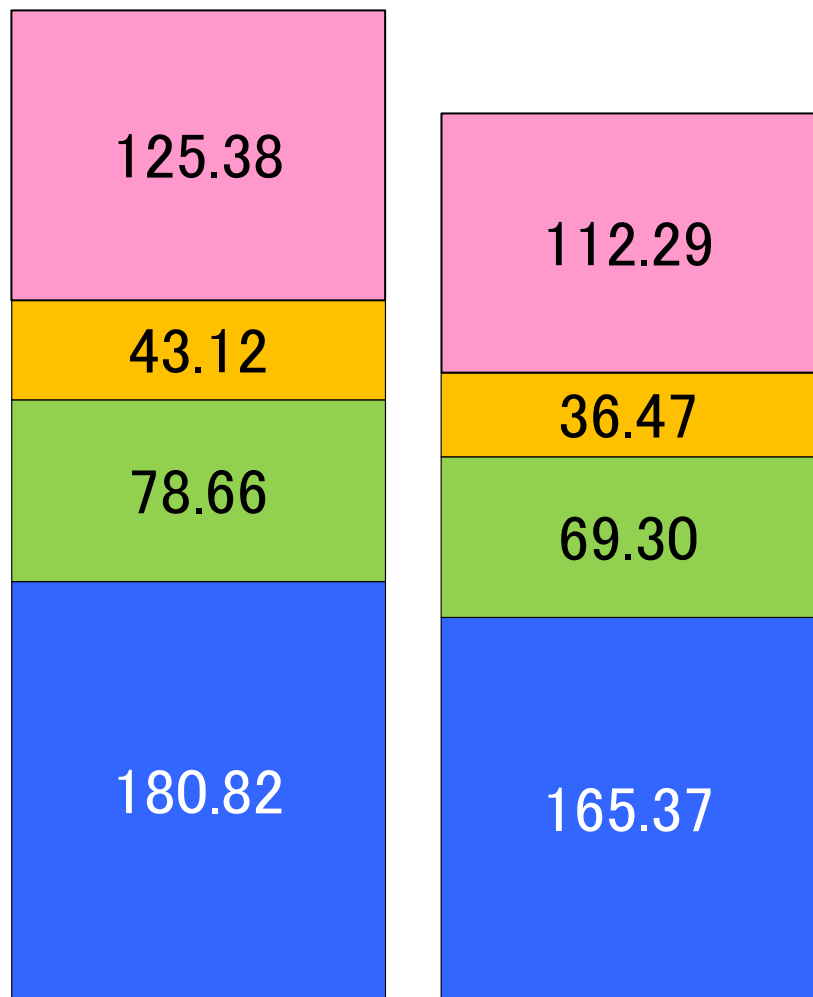
2023年3月期

2024年3月期



業種別売上高

(単位: 億円)



全業種が前期売上に届かず
特に自動車関連の減収幅が大

- その他** 食品・医療関連のみ堅調
- 家電・精密機器** エネルギーコスト上昇などの要因があり、市場全体が低迷
- 電子部品・半導体** スマホ向け需要失速で停滞
- 自動車** 日本・中国で新車金型の受注が低迷

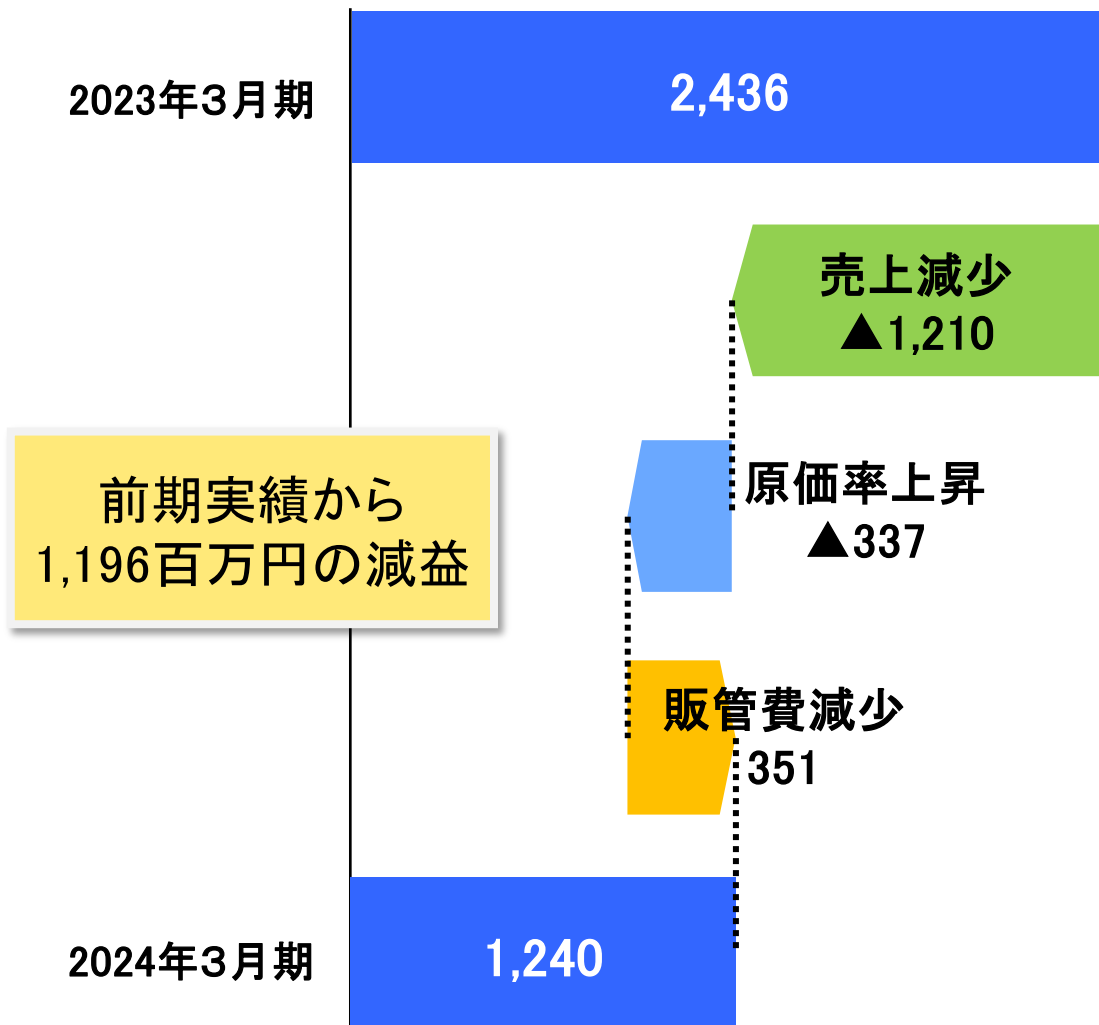
2023年3月期

2024年3月期



営業利益増減

(単位:百万円)



【売上の主な増減要因】

- 中国・日本の市場環境悪化により減収

【原価率の主な増減要因】

- 経営合理化による改善効果
- 売上減による工場稼働悪化

【販管費の主な増減要因】

- 経営合理化による改善効果
- 売上減による運搬費減少

貸借対照表サマリー

(単位:百万円)

	2023年3月期末	2024年3月期末	比較増減
総資産	30,455	29,649	▲ 806
総負債	11,403	10,899	▲ 504
うち有利子負債	2,997	3,721	724
純資産	19,052	18,750	▲ 301
ネット資金	2,215	2,310	95

自己資本比率	62.4%	63.1%	0.7pt
自己資本利益率(ROE)	7.9%	-	-
投下資本利益率(ROIC)	8.1%	3.9%	▲ 4.2pt

設備投資額(無形固定資産含む)	1,352	915	▲ 436
減価償却費(無形固定資産含む)	1,130	1,166	35



キャッシュ・フローサマリー

(単位:百万円)

	2023年3月期	2024年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,560	1,276
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,546	▲ 680
フリーキャッシュ・フロー	1,013	596
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 756	▲ 2
現金及び現金同等物の増減額(換算差額含む)	543	791
現金及び現金同等物の期末残高	5,212	6,003



2024年3月期～2025年3月期

2023-2024年度 中期経営計画

「バリュークリエーション2024 Revival」 及び2025年3月期 業績予想

リバイバル

◆ 本資料内では、バリュークリエーション(V^{ブイシー}ALUE CREATION)を「VC」と称しています



パンチ工業株式会社

(証券コード:6165)

「VC2024 Revival」の重点経営課題

付加価値の高い特注品ビジネスにより特化し、持続的な利益成長を目指す

株式上場

VC15

VC2020

VC2024 Revival

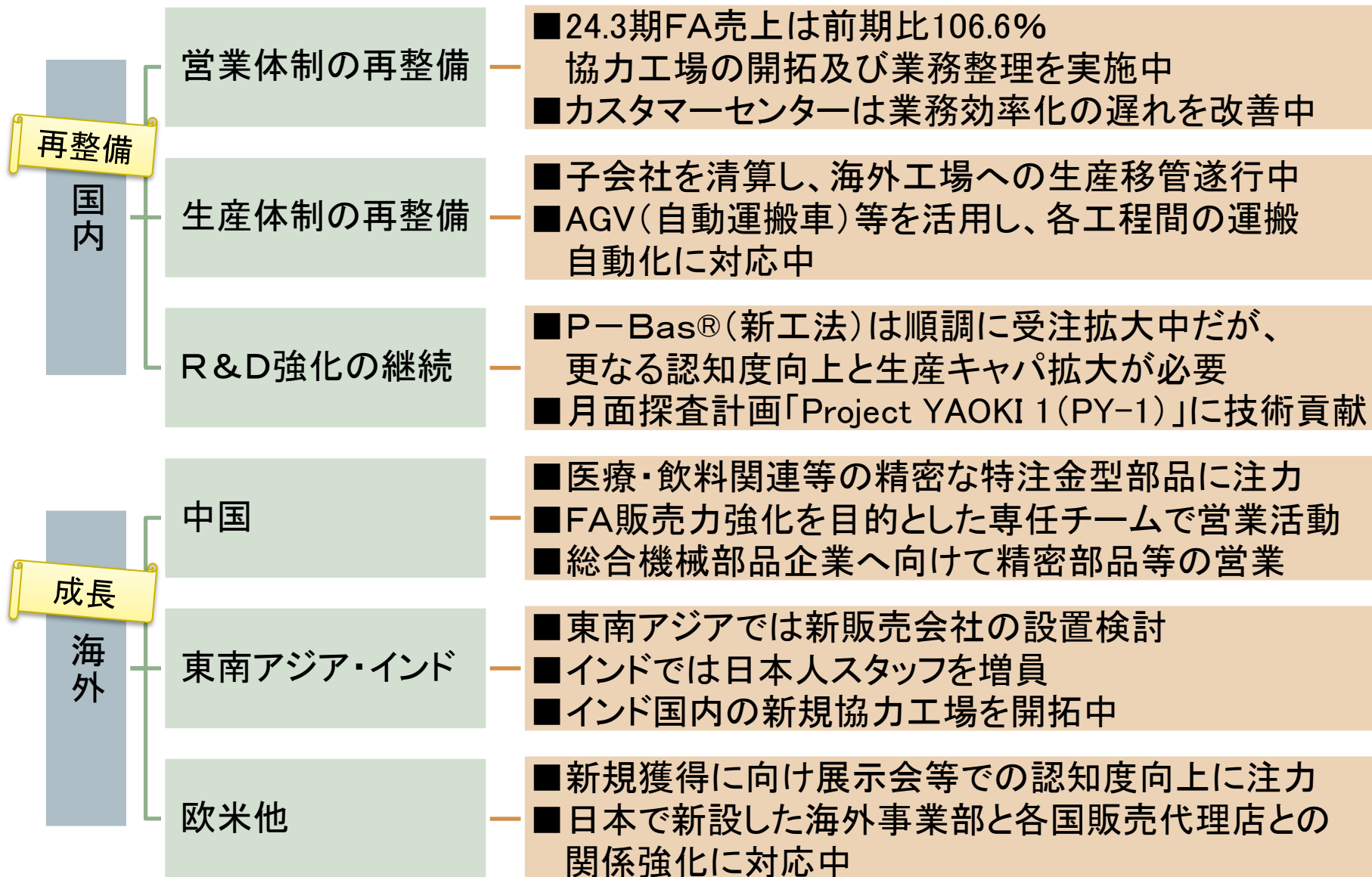
- 国内事業の再整備
- 海外事業での成長

- 販売5極体制の確立
- お客様サービスの向上
- 高収益事業の推進とR&D強化
- 働き方改革

- グローバル化
- 新市場の開拓
- 高収益事業モデルへの転換



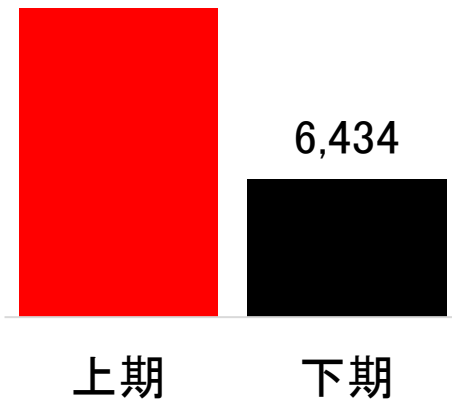
「VC2024 Revival」の重点施策



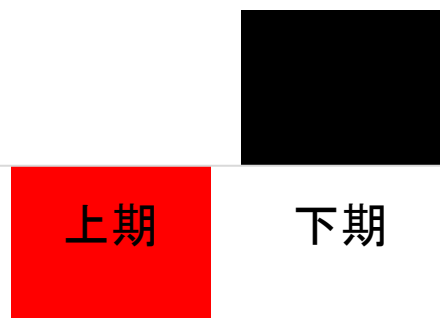
日本事業での経営合理化後の数値効果(上期・下期の比較)

2023年9月末、希望退職者の募集・連結子会社の解散を含めた経営合理化を実施

24.3期の売上高
6,723



24.3期の営業利益
110



▲ 110

- 売上高は▲289百万円
 - 売上構成比の高い自動車関連の受注低迷が継続
 - 人員減による営業及び製造の一時的な混迷
- 営業利益は+220百万円
 - 経営合理化による人件費の減少
 - 価格改定による利益の改善
 - 売上減による販管費の減少
- 「VC2024 Revival」では、「付加価値の高い特注品ビジネスにより特化し、持続的な利益成長を目指す」ことを方針として、最重点施策である「日本事業の再整備」を行うことで、早急な事業体制の再構築と業績の立て直しを図る

2025年3月期 通期連結業績及び配当の予想

(単位:百万円)

	2024年3月期 (実績)		2025年3月期 連結累計期間			
			業績予想	前期差	前期比	
売上高		38,344		38,500	155	100.4%
営業利益	3.2%	1,240	5.6%	2,150	909	173.3%
経常利益	3.7%	1,421	5.5%	2,100	678	147.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益(▲は純損失)	-	▲ 577	3.1%	1,200	1,777	-
自己資本利益率 (ROE)		-		6.3%	-	-
投下資本利益率 (ROIC)		3.9%		6.7%	2.8pt	-

2025年3月期
配当予想

19.61円(予定) = 中間 9円80銭 + 期末 9円81円

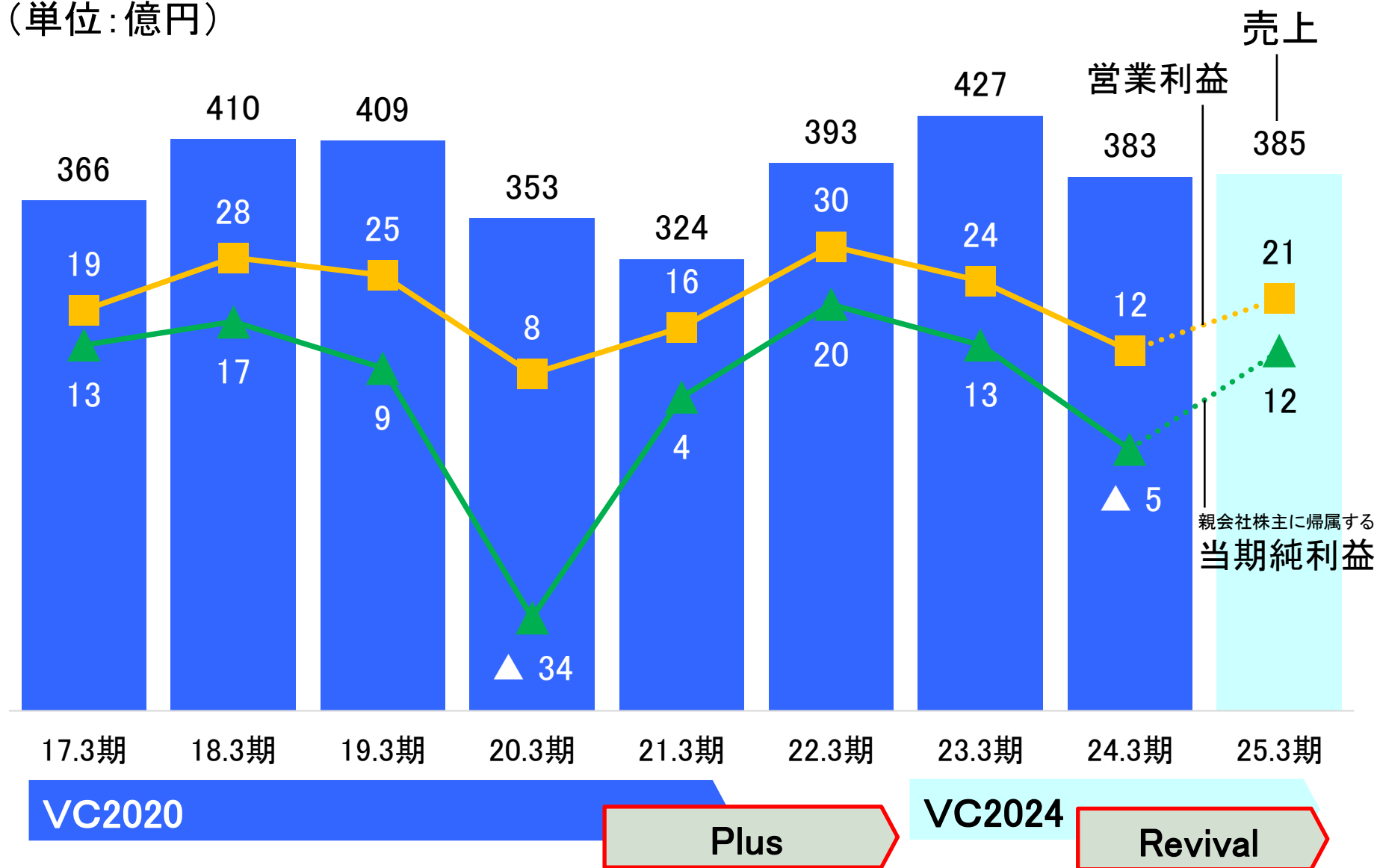
【想定為替レート】 1人民元=19円50銭/1USD=142円00銭

【設備投資計画】 設備投資額:15億円 減価償却費:11億円



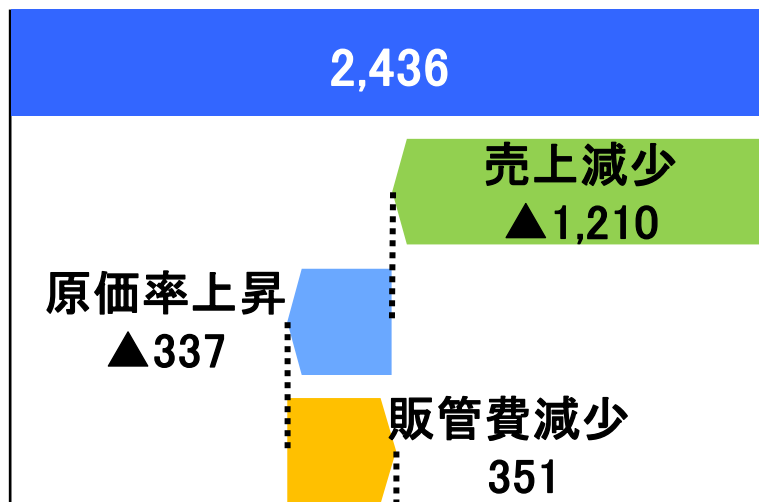
「VC2024 Revival」の経営数値目標

(単位: 億円)

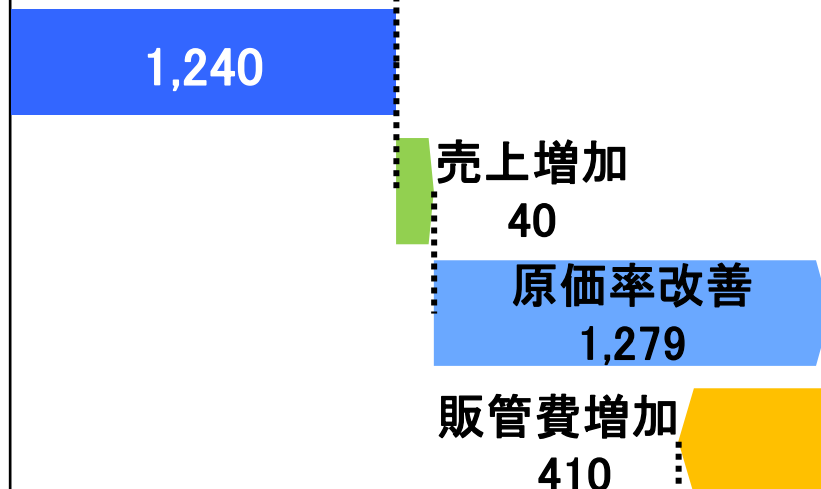


営業利益増減

2023年3月期
(実績)



2024年3月期
(実績)



2025年3月期
(予想)



(単位: 百万円)

【2025年3月期】

【売上の主な増減要因】

■日本・中国を中心とした市場環境悪化が続くも、2024年3月期を底として2025年3月期は横ばいまたは微増を予測

【原価率の主な増減要因】

■経営合理化(生産体制の再構築、人員減少)による原価率の改善

【販管費の主な増減要因】

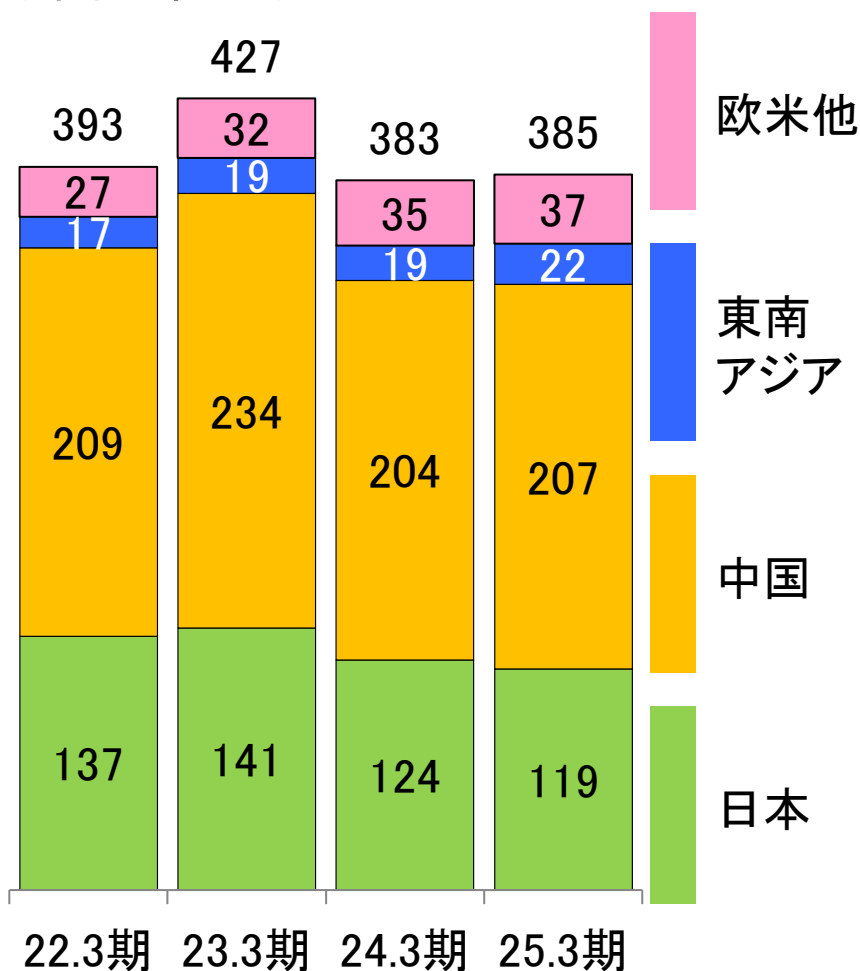
■売上微増による変動費増
■経営合理化(営業体制の再整備、人員減少)による減少



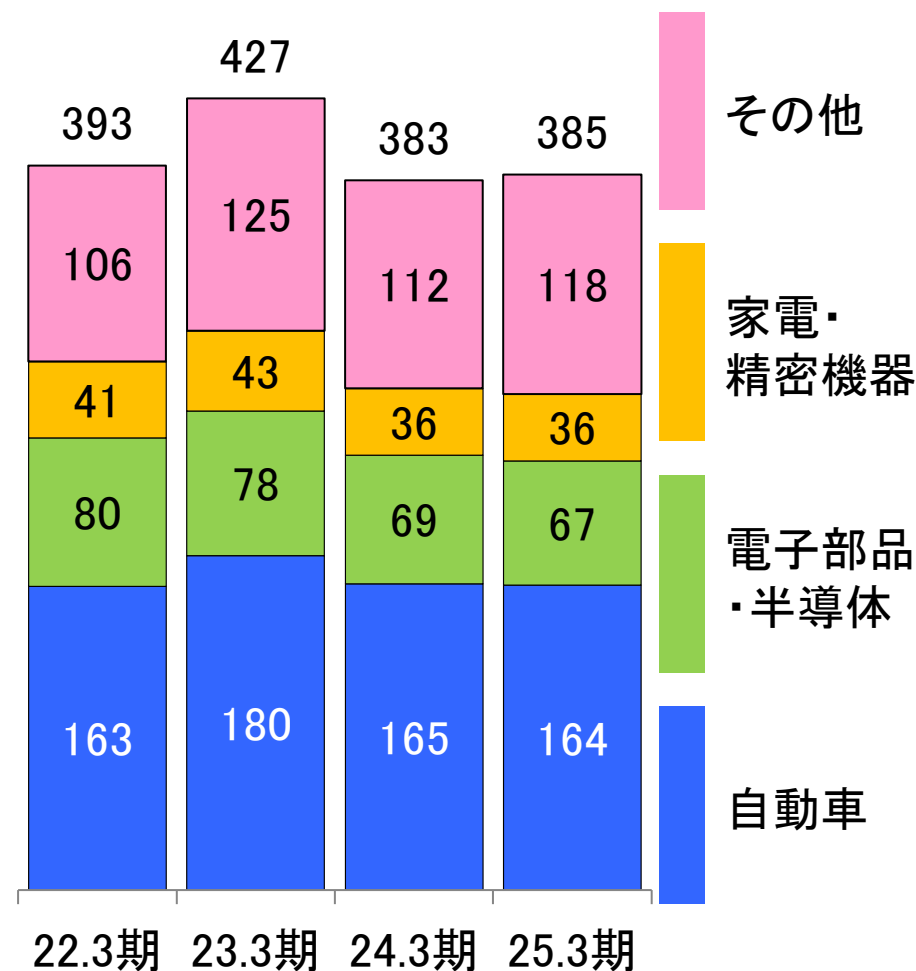
地域別・業種別売上の数値目標

受注環境は好転しつつあるが、前期からの増収幅は微増と予想

(単位: 億円)



(単位: 億円)



「資本コストや株価を意識した経営」への対応状況について

財務基盤の健全性を確保し、株主還元と成長投資へ分配して企業価値向上を目指す

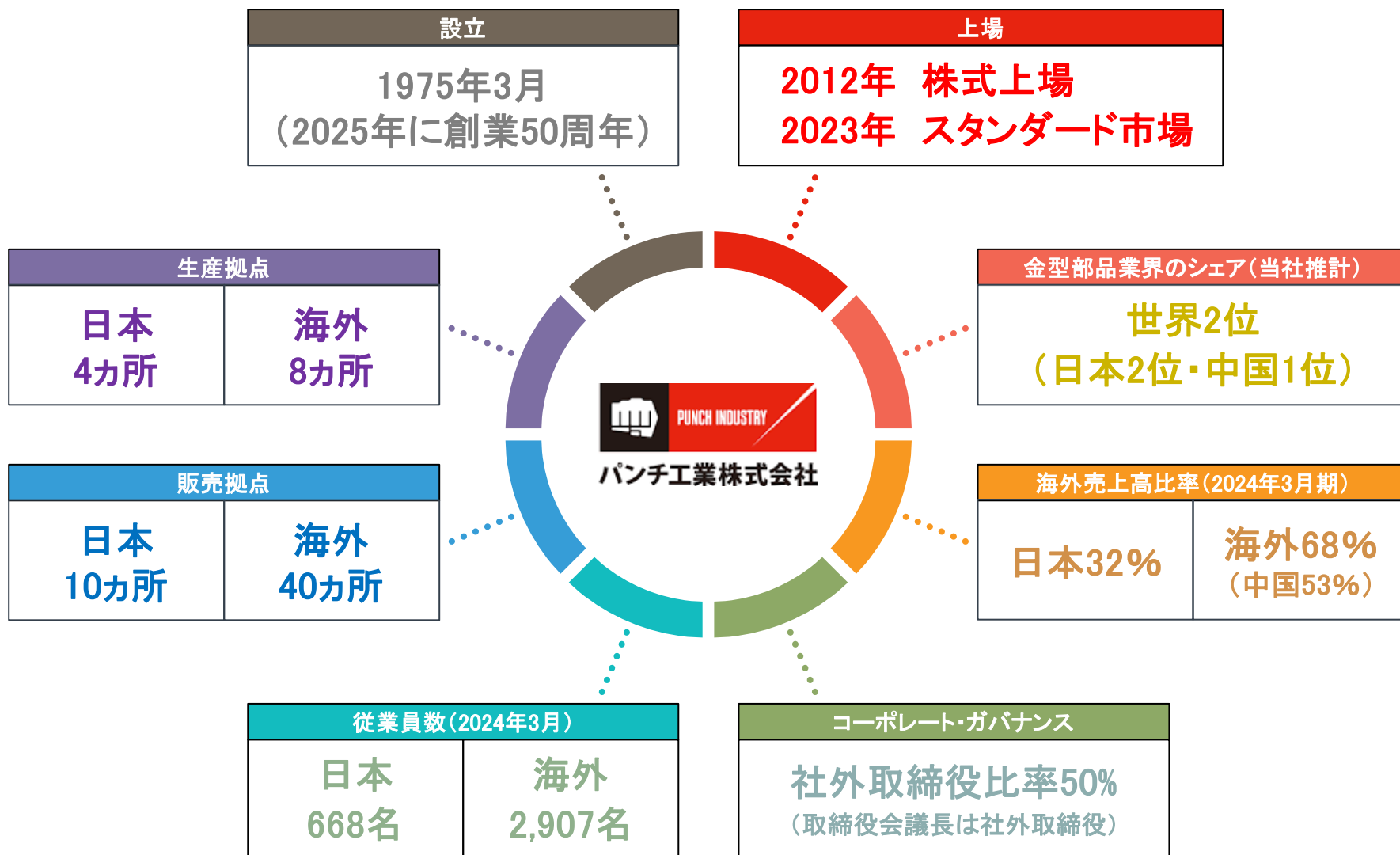
株主資本	24.3期	25.3期 (予想)
期首期末平均	15,820百万円	15,624百万円
期末のみ	15,259百万円	15,989百万円
▼		
配当総額	24.3期 DOE 3%	25.3期 DOE 3%
期首期末平均	474百万円	468百万円
期末のみ	457百万円	479百万円
▼		
1株当たり 配当金	24.3期 DOE 3%	25.3期 DOE 3%
期首期末平均	19円40銭	19円16銭
期末のみ	18円71銭	19円61銭

- 株主資本配当率の計算方法の修正
 - 前期(24.3期)までは期首株主資本と期末株主資本の平均値が分母
 - 当期(25.3期)からは、**株主資本の改善効果を迅速に配当へ反映させるため、期末株主資本のみを分母とする方法に変更**
 - 前期(24.3期)の年間配当は**変更前**の計算方法によって算出
(変更後計算方法を適用時、▲69銭)
 - 当期(25.3期)の年間配当予想は、**変更後**の計算方法によって算出
(変更前計算方法を適用時、▲45銭)

参考資料



ひと目でわかるパンチグループ



マネジメント体制

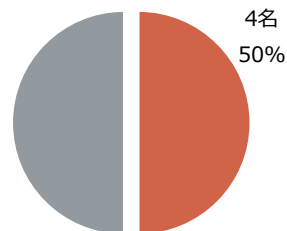
代表取締役社長プロフィール

氏名及び生年月日	職歴
 森久保 哲司 (1977年1月22日)	2003年5月 当社入社
	2005年2月 盤起工業(大連)有限公司
	2012年11月 バリュー・クリエーション推進室長
	2013年4月 経営企画室長
	2015年4月 PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.
	2016年5月 執行役員
	2018年6月 取締役 上席執行役員 経営戦略統括
	2019年4月 最高戦略責任者 グループ事業統括
	2019年6月 代表取締役(現任) 副社長執行役員
	2019年11月 社長執行役員 最高経営責任者 グループ経営統括(現任)

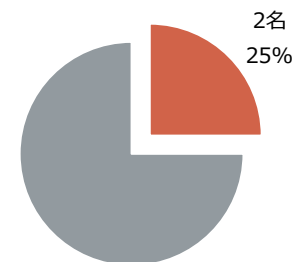
取締役体制

取締役	代表取締役社長執行役員 最高経営責任者(CEO)	森久保 哲司
	取締役上席執行役員 最高財務責任者(CFO)	村田 隆夫
	取締役上席執行役員 最高執行責任者(COO)	高梨 晃
	社外取締役 取締役会議長	高辻 成彦
	社外取締役	大里 真理子
取締役 (監査等委員)	取締役(監査等委員)	河野 稔
	社外取締役(監査等委員)	鈴木 智雄
	社外取締役(監査等委員)	田畑 千絵

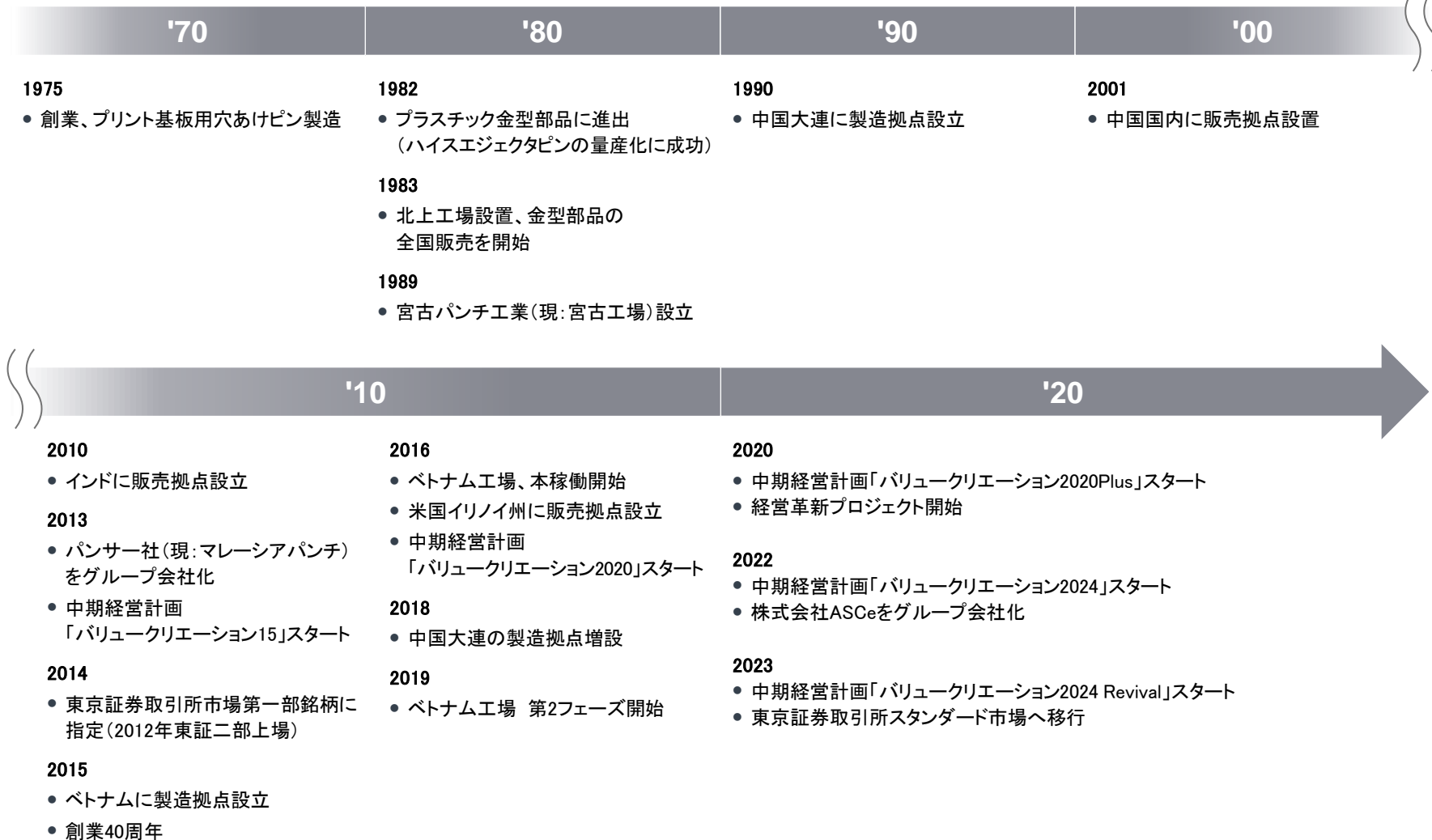
社外取締役比率



女性取締役比率

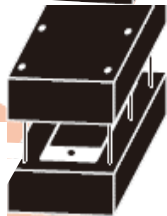
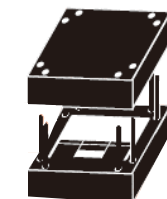
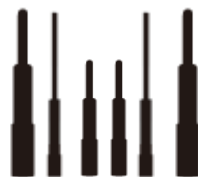


パンチグループ沿革



事業内容

金型を構成するために、なくてはならない多種多様な精密金型部品の製造・販売
皆様の豊かな生活を支える「縁の下の力持ち」



たとえばこんな部品



金型

構成部品を速く、
均一に、大量につ
くるための金属で
できた「型」

構成部品

製品を構成する
ために必要となる
パーツ

製品

自動車や家電など
私たちが身近で使
うさまざまな製品



パンチグループの主要製品

射出成型金型等のプラスチック金型部品とプレス加工金型等のプレス金型部品
ものづくりの上流から下流までお取引

プラスチック金型部品

プラスチック金型は、スマートフォンやデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられています。加熱溶融したプラスチック樹脂を、射出成形機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られます。パンチグループでは、この金型を構成する部品を製造・販売しています。



主要な製品

エジェクタピン

射出成形された成形品を金型そのものから離し、突き出すための部品（押し出しピン）です。



主要な製品

コアピン

製品部を成形するのに使用し、コアピンの形が転写されます。製品部の貫通させた部分が成形したり、製品部に彫刻をします。

プレス金型部品

プレス機（上下運動する機械）に金型を装着し、上下に分かれた金型の間に材料となる金属の鋼板を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品ができて上がります。パンチグループでは、この金型を構成する部品を製造・販売しています。



主要な製品

パンチ

プレス金型に組込まれる代表的な部品で、金属板に穴をあけたり、形状を転写するための部品です。当社の社名はこのパンチに由来しています。



主要な製品

ホルダーガイドポスト関連

上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品です。



パンチグループの特徴

日本・中国

特注金型部品シェア1位 ※当社推計



カタログ品

汎用性の高い標準製品を豊富にラインナップ

スピーディなソリューション

特注品

カスタムニーズにも柔軟に対応



一気通貫の生産体制
2,000台以上の設備で幅広い対応力

お客様密着型の営業体制
きめ細かな対応・提案力

高い技術力

創業以来培ったノウハウとたゆまぬ研究開発



パンチグループの強みとネットワーク

汎用性の高いカタログ品を豊富にラインアップ & カスタムニーズにも対応する特注品
世界の「ものづくり」を支える

パンチグループの強み

お客様に高い満足度を提供

カタログ品
汎用性の高い標準製品を
豊富にラインアップ



タイムリーで
的確な
ソリューション

特注品
カスタムニーズにも
柔軟に対応



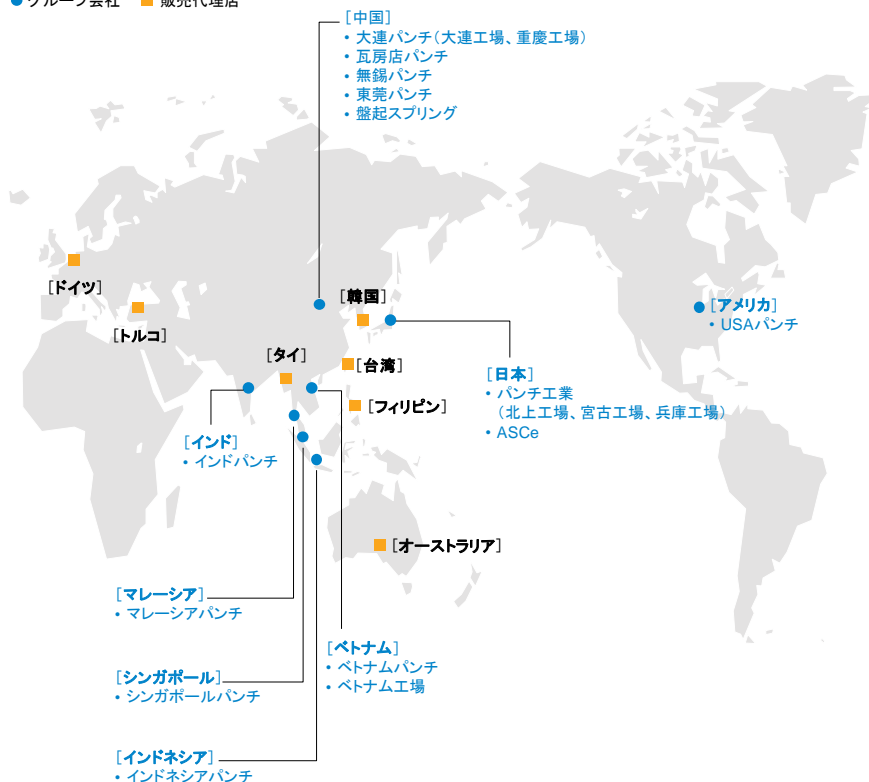
**一気通貫の
生産体制**
2,000台の設備で
幅広い対応力

**お客様密着型の
営業体制**
きめ細かな
対応・提案力

高い技術力
創業以来培った
ノウハウと
たゆまぬ研究開発

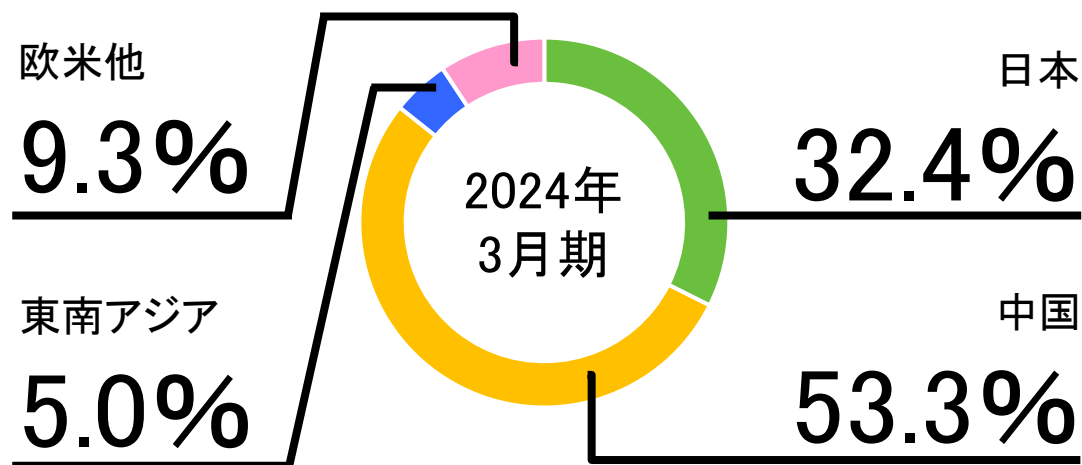
パンチグループのネットワーク

● グループ会社 ■ 販売代理店

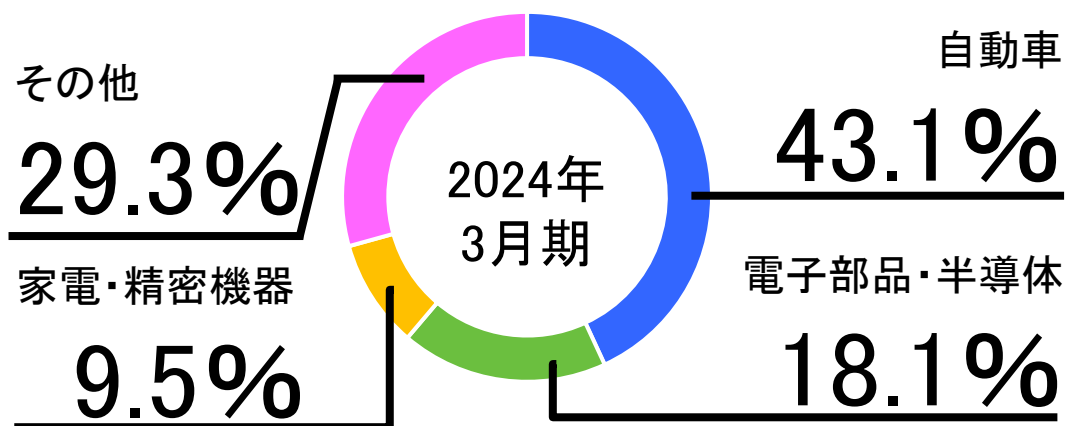


地域別・業種別売上高構成比

地域別売上高構成比

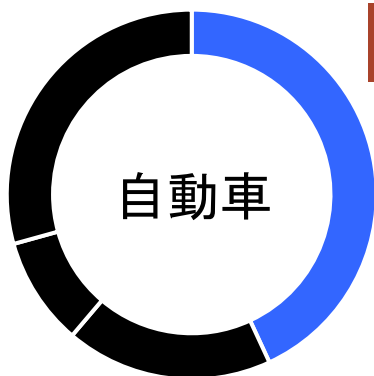


業種別売上高構成比



業種別の主要顧客

日本での主な競合先: 大手総合機械商社、地場金型加工メーカーなど
中国での主な競合先: 中華系機械商社、中華系機械メーカーなど



主要顧客

自動車メーカー及び
Tier1,2
金型メーカー



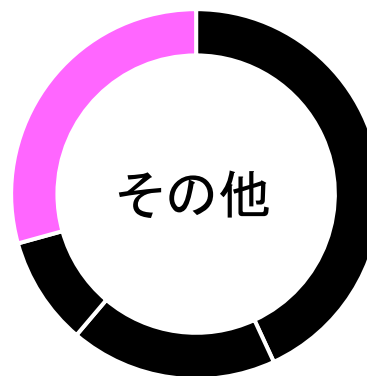
主要顧客

電子部品メーカー
半導体装置メーカー
金型メーカー



主要顧客

家電メーカー
金型メーカー



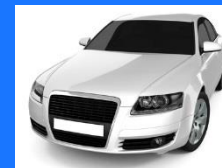
主要顧客

文具メーカー
玩具メーカー
医療メーカー
飲料容器メーカー
グローバル商社
金型メーカー

エンドユーザーのイメージ（例：自動車関連）

大多数のエンドユーザーは金型メーカー

自動車メーカー



ボディ・外装・シート・
コネクター・等々のメーカー



金型 メーカー



パンチグループ



主な展示会出展・セミナー登壇情報(2023～2024年)

期間	開催地		展示会
11/15 ～ 11/16	日本	東京	ものづくりパートナーフォーラム東京
11/29	日本	東京	品川区主催SDGs フォーラム
12/6 ～ 12/9	インドネシア	ジャカルタ	Manufacturing Indonesia
1/20	日本	東京	IR・株式投資セミナー
1/26	日本	福岡	北九州未来創造セミナー
2/1	日本	オンライン	次世代金型技術 Webinar Week 2024
2/14 ～ 2/17	インド	ムンバイ	Die & Mould India International Exhibition



Manufacturing Indonesia 2023



品川区主催SDGs フォーラム

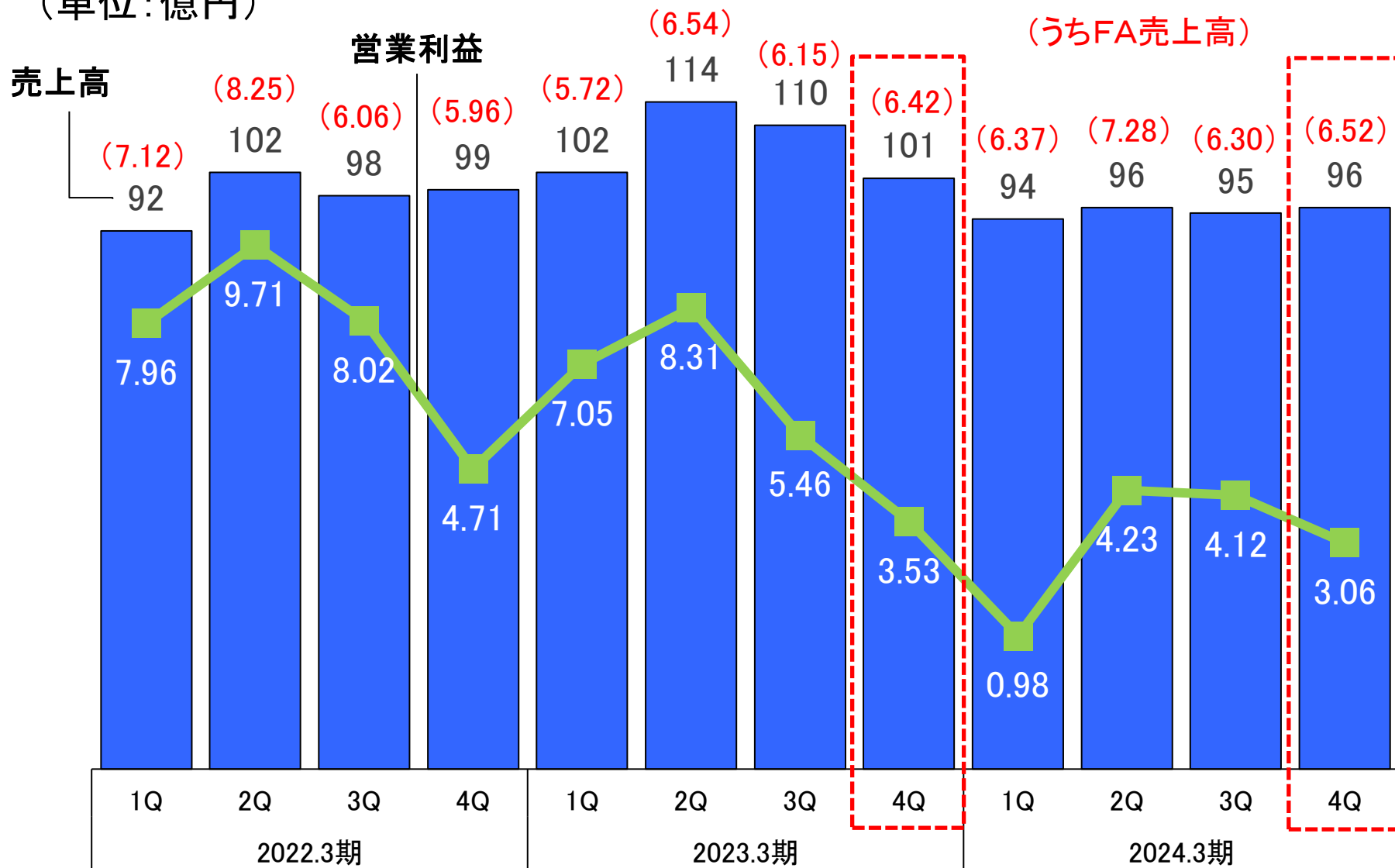


Die & Mould India International Exhibition



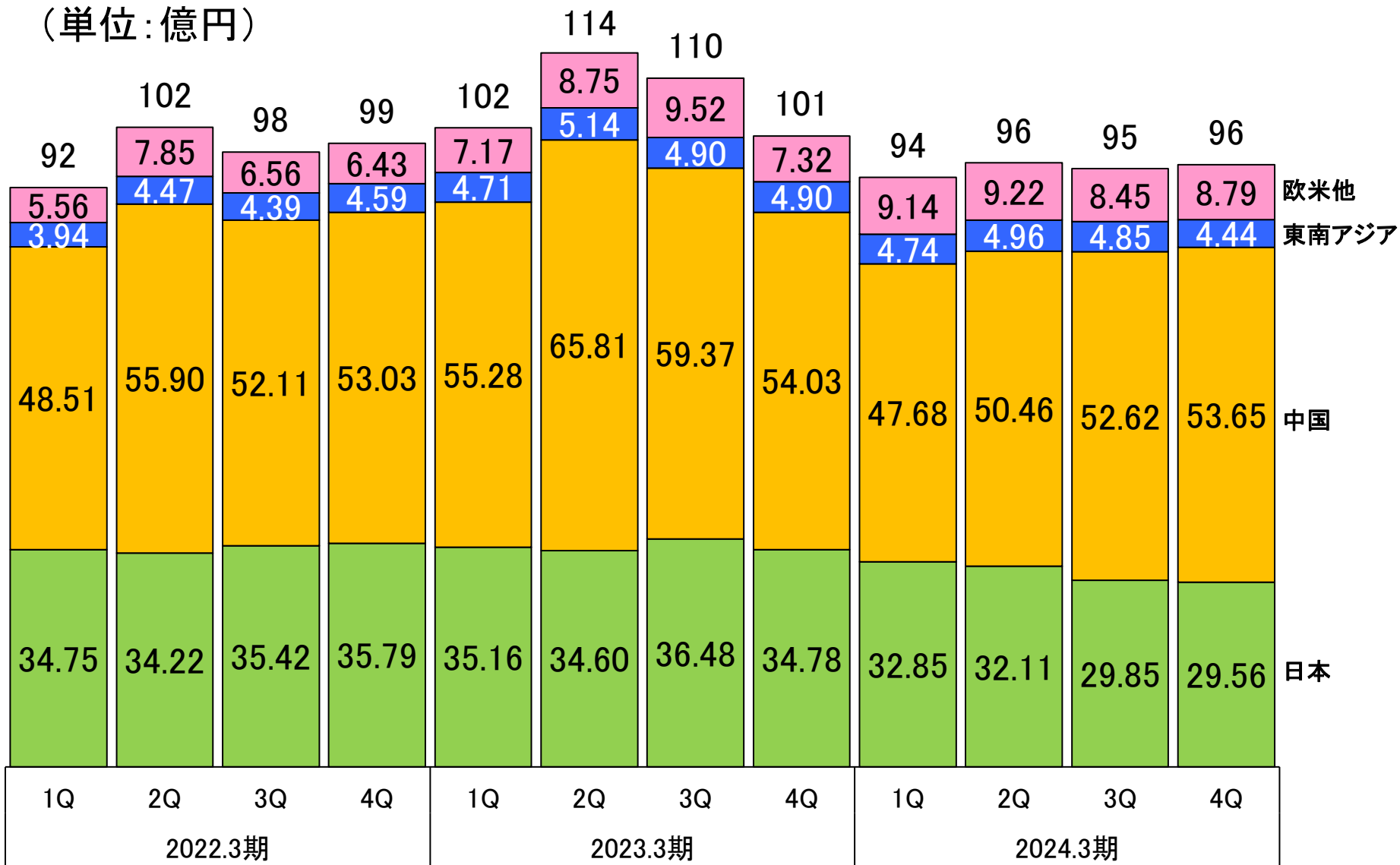
売上高と営業利益の推移

(単位: 億円)



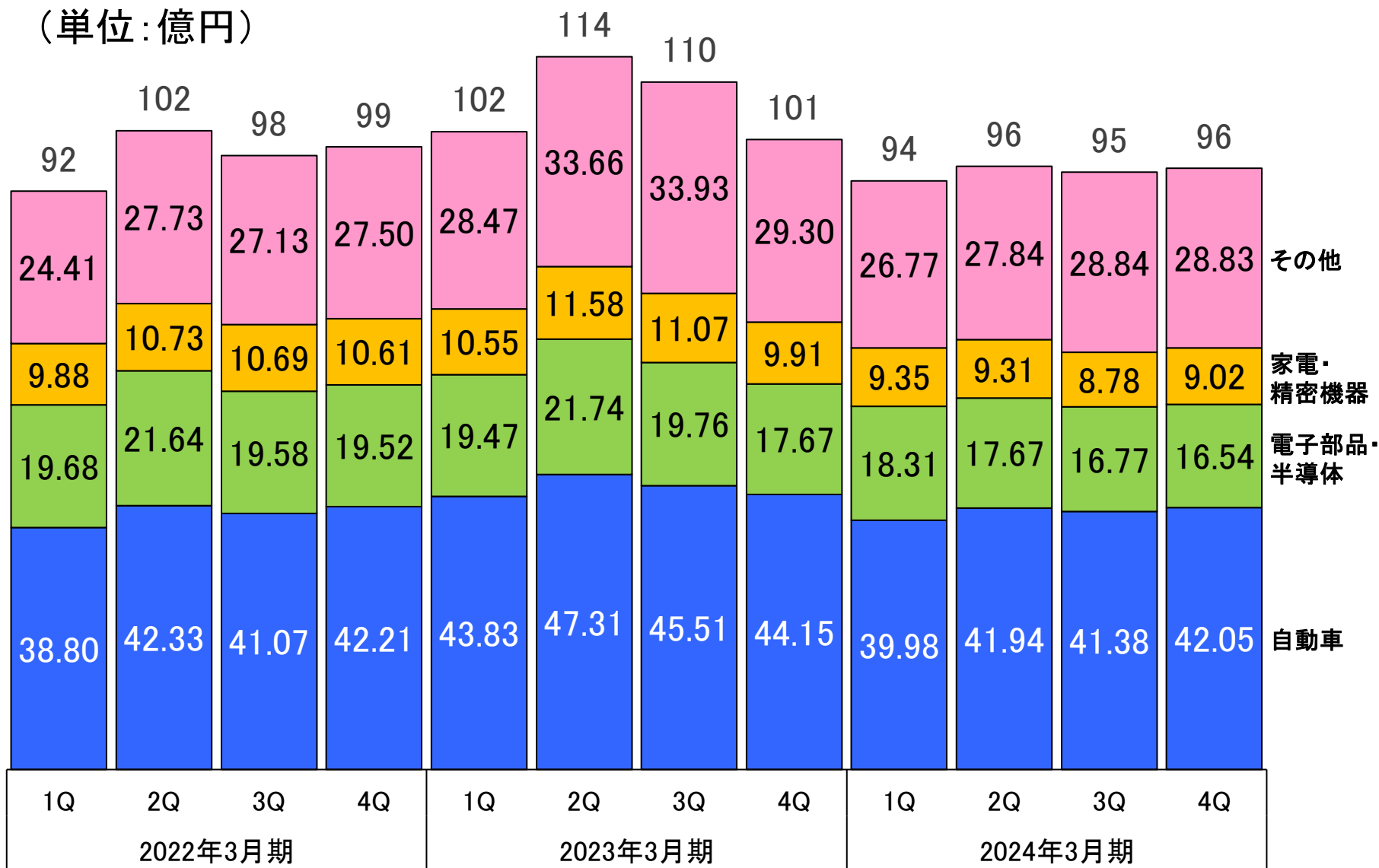
地域別売上高

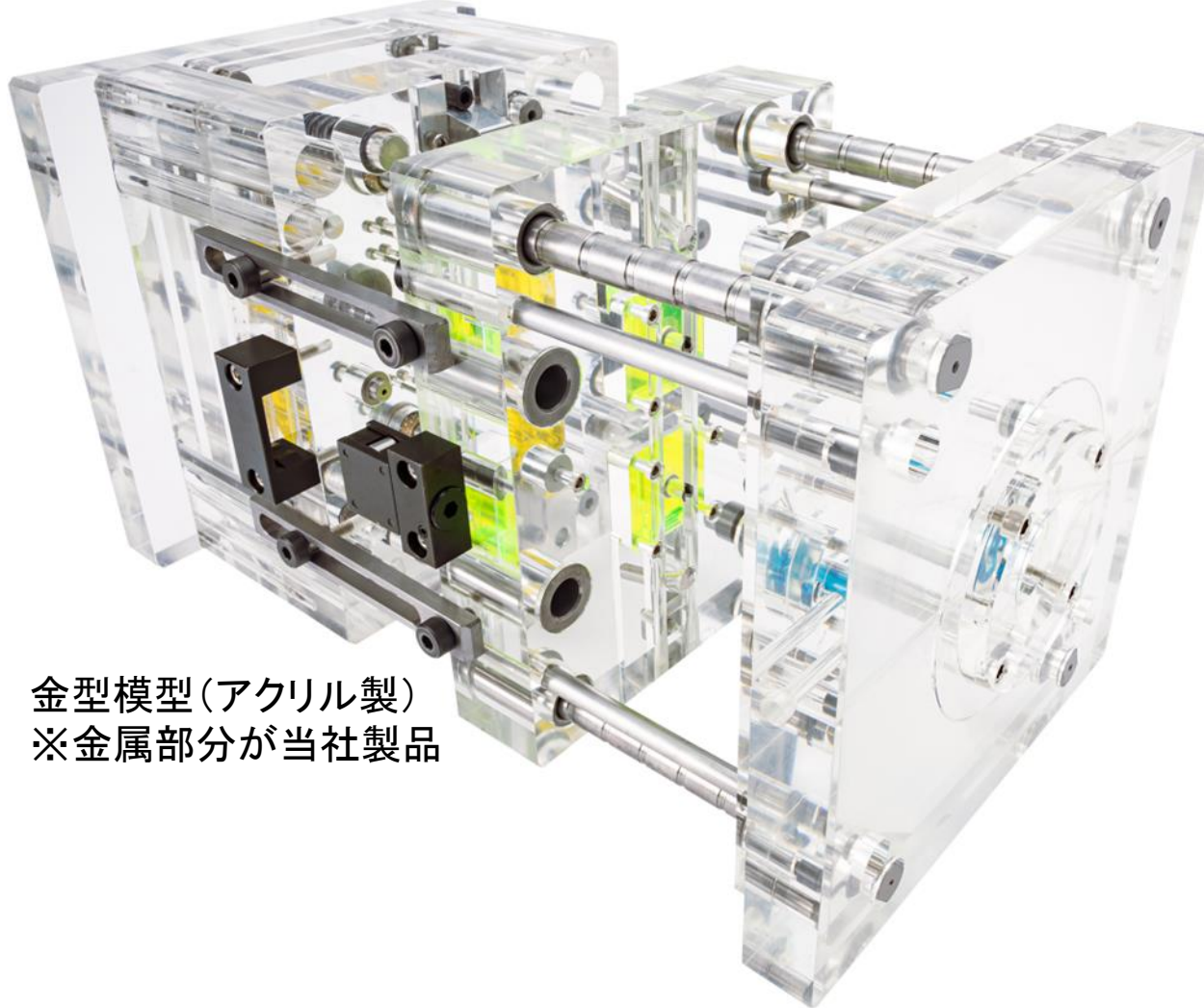
(単位: 億円)



業種別売上高

(単位: 億円)





金型模型(アクリル製)
※金属部分が当社製品

【IRに関するお問い合わせ先】 パンチ工業株式会社 経営戦略室 広報IR課 電話:03-5753-3130 e-mail:info-corp@punch.co.jp

【将来見通し等に関する注意事項】

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。